2026年11月19日

各　位

会社名　　株式会社ＥＲＴＨ　Ｇｒｏｕｐ
代表者名　　代表取締役社長　　荒川　高広
（コード番号：6072　東証スタンダード）
問合せ先　　執行役員総務部長　髙瀬　秀人
（TEL. 03-6265-1834）

第５回新株予約権の行使に伴う第１回無担保普通社債の繰上償還（完済）及びバリュー投資事業の進捗に関するお知らせ

当社は、2026年11月18日に発行いたしました第三者割当による第５回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）につきまして、2026年11月19日付で行使が行われたこと、並びに当該行使価額の払込みに係る債権と、2026年11月９日に発行いたしました「株式会社ERTH Group第１回無担保普通社債」（以下「本社債」といいます。）の償還請求権とが対当額において相殺されたことにより、本日付で本社債の全額繰上償還（完済）が完了いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本社債の調達資金等を原資として推進しております当社のバリュー投資事業の進捗状況につきましても、あわせてお知らせいたします。

記

１．第５回新株予約権の行使状況

項目	内容
（１）銘柄名	株式会社ERTH Group 第５回新株予約権
（２）対象期間	2026年11月19日
（３）対象期間中の交付株式数	1,220,000株
（４）対象期間中の行使個数	12,200個（行使比率61.0%）
（５）対象期間中の行使価額総額	1,464,000,000円
（６）対象期間後の未行使残存個数	7,800個

※行使価額の払い込みに関しましては、本社債額1,100百万円について相殺し、364百万円について金銭にて払い込まれております。

２．本社債の相殺による繰上償還（完済）について

(1) 繰上償還（相殺）の経緯および理由

当社は、2026年11月９日付「第１回無担保普通社債の発行並びに第三者割当による第５回、第６回及び第７回新株予約権の発行に係る資金使途の変更に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、本新株予約権の行使を待たずに国内上場有価証券への投資（バリュー投資事業）を早期に進捗させる目的で本社債を発行し、第５回及び第６回新株予約権の行使により調達した資金（行使価額の払込みに係る債権との相殺を含む）を本社債の償還に充当する方針としておりました。

2026年11月19日、割当先であるEVO FUNDより本新株予約権の行使請求がなされたことに伴い、当該行使価額の払込みに係る債権と本社債の償還請求権（額面総額1,100,000,000円）が対当額において相殺により消滅したため、本日付で本社債の未償還残高全額の繰上償還（完済）が完了いたしました。

なお、今回行使により払いこまれた364百万円と本新株予約権の未行使残存分および第６回・第７回新株予約権の今後の行使により調達する資金につきましては、当初の予定どおり国内上場有価証券への投資資金に充当してまいります。

(2) 繰上償還の概要

項目	内容
(1) 社債の名称	株式会社ERTH Group第１回無担保普通社債
(2) 社債権者	EVO FUND
(3) 発行日（払込期日）	2026年11月９日
(4) 当初償還期限	2028年11月20日
(5) 繰上償還日	2026年11月19日
(6) 社債の額面総額	1,100,000,000円
(7) 今回繰上償還金額	1,100,000,000円（相殺による償還）
(8) 償還金額の割合	額面100円につき金100円
(9) 繰上償還後の未償還残高	0円

（注）本社債は無利息社債であるため、本件繰上償還に伴う支払利息の発生はございません。

３．バリュー投資事業の進捗状況について

当社は、企業が有する資産、収益力及び将来のキャッシュ・フロー創出力等に照らして、市場における評価が本源的な企業価値を下回っていると判断される国内上場有価証券への投資を通じて、中長期的な投資収益の獲得を目指すバリュー投資事業を推進しております。

2026年11月10日「バリュー投資事業における投資実行のお知らせ」にて開示しておりますとおり、本社債の発行により機動的な投資資金を確保したことで、本新株予約権の行使開始に先立ち、魅力的な投資機会を捉えた有価証券の取得を迅速に進めてまいりました。

具体的な投資実行額につきましては、当社のバリュー投資事業における事業戦略上の観点から、現時点では非開示とさせていただきますが、当社が実質的に保有している純資産として重視しているルックスルー純資産※において、投資先の前四半期末時点の純資産の実績値をベースとして、約10億円超の積み上げができております。

また、保有有価証券全体のバリュエーションにつきましては、事業計画で想定している数値より割安に取得しております。

今後も、残存する新株予約権の行使により調達する資金を活用し、引き続き本源的価値に対して割安な銘柄への厳選投資を継続するとともに、投資先企業との建設的な対話等を通じて企業価値および株主価値の向上に努めてまいります。

※ルックスルー純資産：保有株式を通じて、投資先の純資産を取り込んでいるとする考え方であり、当社が実質的に保有している純資産を示す指標として、投資先の純資産と当社が保有する持分比率を掛け合わせて算出しております。当該指標は会計上の純資産又は投資評価益を示すものではございませんのでご注意ください。

４．今後の見通し

本新株予約権の行使および相殺による本社債の繰上償還（完済）、並びにバリュー投資事業の進捗が2027年3月期の連結業績に与える影響につきましては、バリュー投資事業の進捗に伴う中長期的な企業価値の向上に資するものと考えてはおりますが、現時点では精査中です。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

今後も、残存する新株予約権の行使により調達する資金を活用し、引き続き本源的価値に対して割安な銘柄への厳選投資を継続するとともに、投資先企業との建設的な対話等を通じて企業価値および株主価値の向上に努めてまいります。

以上